

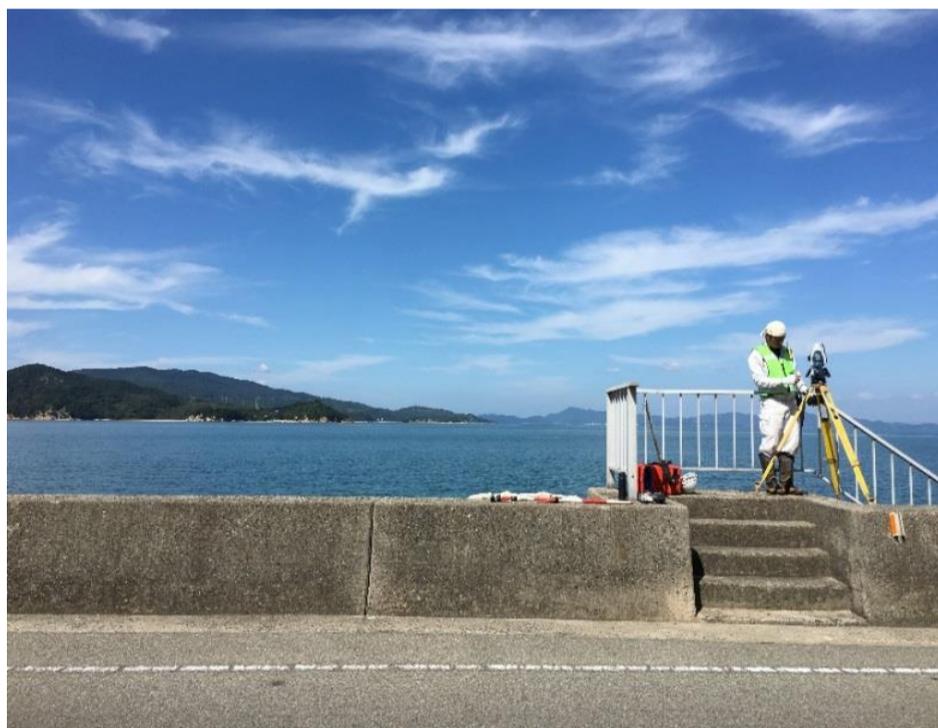


認証番号0012956

株式会社 丸山測量

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年9月～2024年8月)



発行日： 2024年11月15日

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社丸山測量は、豊かな地球環境を次世代へ継承することが、人類共通の重要な課題であると認識し、環境に配慮した測量・調査を通じ、環境への負荷を軽減することにより、地域社会へ貢献する企業を目指してまいります。活動内容は、環境経営における課題やチャンスを持期的に見直すことで明確にし、効率よく、無駄なく、タイムリーに従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境保全推進体制を構築し、下記方針を定め全社員に周知し取り組みます。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物削減と分別処理を推進します。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 経営における課題とチャンスを持期的に把握し、活動に反映します。
6. 環境関連法規制等を遵守します。
7. 環境経営レポートを社内外に公表し、社会とのコミュニケーションを積極的に行います。
8. 地域の美化活動に積極的に参加します。

制定日：2019年8月1日

改訂日：2021年9月1日

代表取締役社長 丸山武

II. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 丸山測量

代表取締役社長 丸山 武

(2) 所在地

本 社 〒671-4142 兵庫県宍粟市一宮町能倉768番1

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名・連絡先

責任者 丸山 武 TEL:0790-72-2425

FAX:0790-72-2426

E-mail:marusoku@white.plala.or.jp

(4) 事業内容

測量・調査業務

(5) 事業の規模

	本社	合 計
従業員	2名	2名
延べ床面積	60m ²	60m ²

(6) 事業年度 9月～翌年8月

(7) 認証・登録の対象範囲

登録組織名 : 株式会社 丸山測量

対象事業所 : 本社

対象外: なし

活動: 測量・調査業務

(8) 環境経営実施体制



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・効果的で必要十分な実施体制の構築 ・環境管理責任者の任命及び各自の役割・責任・権限を定め全従業員へ周知 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
部門長（部長、工場長）	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Ⅲ. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年度 基準年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	14,971	12,423	13,616	13,571	13,137
電力	kWh	4,878	4,321	4,720	4,513	4,119
ガソリン	L	3,723	3,628	4,532	4,522	4,522
軽油	L	1,463	593	0	0	0
灯油	L	180	256	450	476	368
廃棄物排出量						
一般廃棄物	kg	49.8	50.0	42.4	46.5	51.7
水使用量	m ³	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0

注;化学物質の使用はありません

Ⅳ. 環境目標及びその実績

(1) 中期目標

年度		2018年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	14,971	14,222	14,072	13,923	13,773
	対基準		△5%	△6%	△7%	△8%
電力使用量 削減	kWh	4,878	4,634	4,585	4,537	4,488
	kg-CO ₂ 対基準	2,039	1,937	1,917	1,896	1,876
ガソリン 使用量削減	L	3,723	3,537	3,500	3,462	3,425
	kg-CO ₂ 対基準	8,644	8,211	8,125	8,038	7,952
軽油 使用量削減	L	1,463	1,390	1,375	1,361	1,346
	kg-CO ₂ 対基準	3,839	3,647	3,609	3,571	3,532
灯油 使用量削減	L	180	171	169	167	166
	kg-CO ₂ 対基準	449	426	422	417	413
II. 廃棄物排出量						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	49.8	47.8	45.4	42.7	39.7
			△4%	△5%	△6%	△7%
III. 水使用量 削減						
	m ³ 対基準	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
			△0%	△0%	△0%	△0%
IV. 経営における課題とチャンス(1) 測量業務件数の増加単位: 件						
(1) 測量業務件数増加		17	22	23	24	24
2) 3M活動の推進 (ミリ、ムダ、ムラ)		3	4	4	4	4

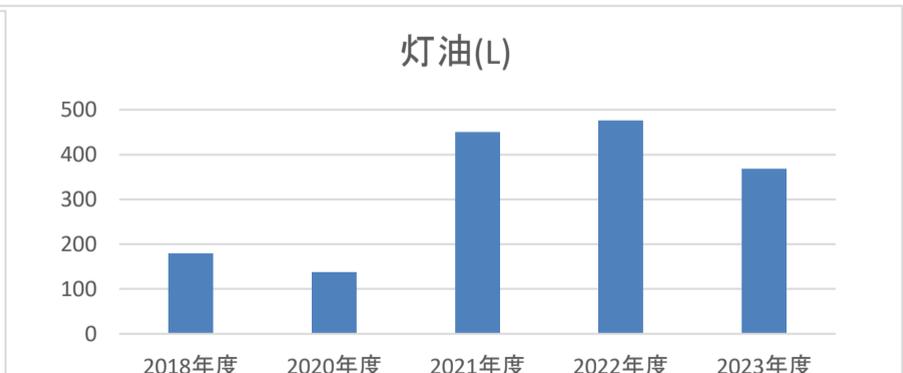
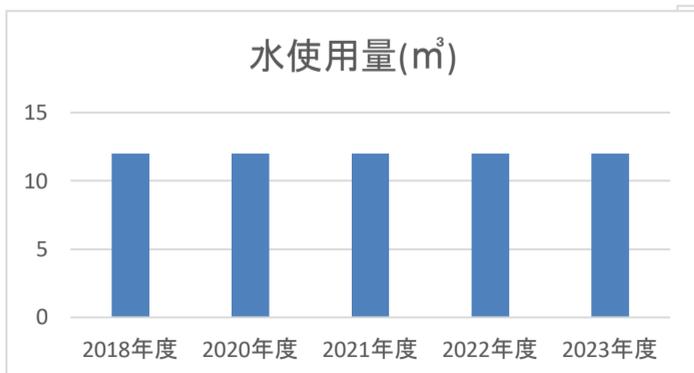
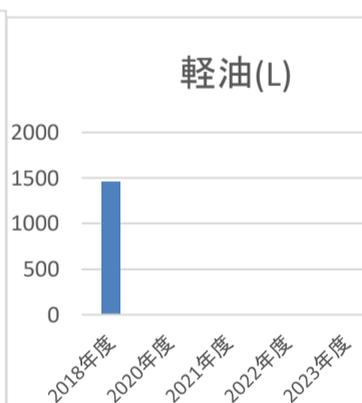
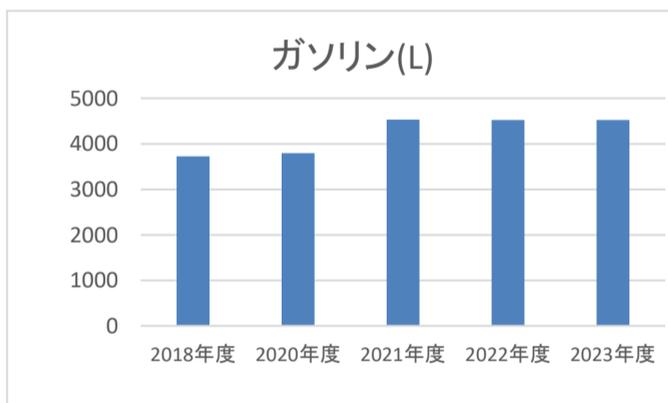
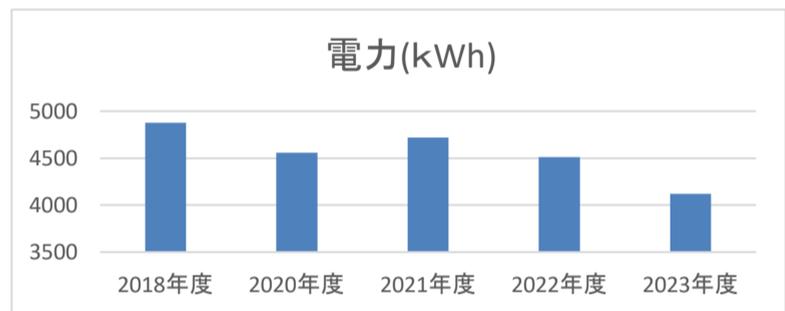
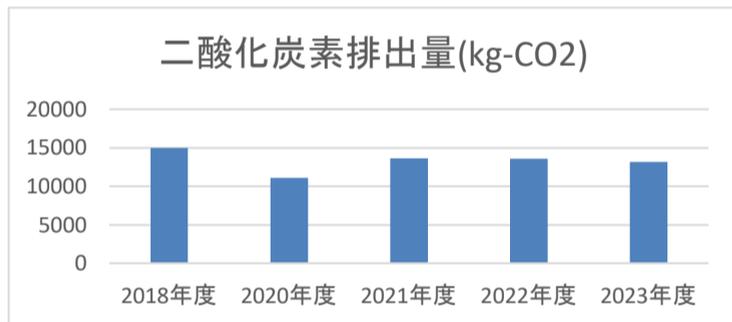
注1) 電力の二酸化炭素排出係数(調整後)は、2017年度関西電力実績値の0.418kg-CO₂/kWhを使用。

注2) 水使用量の年度目標値は2023年度から契約最小値とした。

(2) 対象期間の実績

項目	年度	基準		対象期間における実績			
		2018年度		(2023年9月～2024年8月)			
				目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	14,971		14,222	13,137	108%	○
	対基準			△5%	-12%		
電力 使用量削減	kWh	4,878		4,634	4,119	113%	○
	kg-CO ₂	2,039		1,937	1,722		
ガソリン 使用量削減	L	3,723		3,537	4,522	78%	×
	kg-CO ₂	8,644		8,211	10,499		
軽油 使用量削減	L	1,463		171	0	100%	○
	kg-CO ₂	3,839		426	0		
灯油 使用量削減	L	180		171	368	46%	×
	kg-CO ₂	449		426	917		
	対基準			△5%	104%		
II. 廃棄物排出量							
一般廃棄物 削減	kg	49.8		47.8	51.7	92%	△
	対基準	2019年度		△4%	4%		
III. 水使用量削減							
	m ³	12.0		12.0	12.0	100%	○
	対基準			△0%	0.0%		
IV. 経営における課題とチャンスの活動の推進							
(1) 測量業務件数増加		17		22	23	105%	○
(2) 3ム活動の推進 (ムリ、ムダ、ムラ)		3		4	4	100%	○

注) 評価欄にて、○：達成 (100%以上)、△：やや未達成 (80%～100%未満)、×：未達成 (80%未満)



V. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画（取組内容）
二酸化炭素排出量の削減 (目標達成)		
・下記の通り。	○	下記の通り。
電力使用量の削減 (目標達成)		
・不要照明の消灯	○	階段での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。 今後も左記活動を継続する。
ガソリン使用量の削減 (未達成)		
		遠い現場が多かったためやや未達成となった。
・不要なアイドリングストップ	○	もっと意識をシエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。 今後も左記活動を継続する。
軽油使用量の削減 (目標達成)		
・不要なアイドリングストップ	○	もっと意識をシエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。 今後も左記活動を継続する。
灯油使用量の削減 (目標未達成)		
・室温管理（20℃を基準）	△	より多くの工夫ができるようにする。
・部屋開放の禁止	×	あまりできなかった。 今後も左記活動を継続する。
一般廃棄物の削減 (目標やや未達成)		
実績把握	○	裏紙を使用する。
	○	印刷ミス防止を心掛ける。 今後も左記活動を継続する。
水使用量の削減 (目標達成)		
・清掃時・手洗い時の節水	△	より多くの工夫ができるようにする。 今後も左記活動を継続する。
経営における (目標達成)		
課題とチャンス活動の推進		
(1) 測量業務件数の増加	○	今後も左記活動を継続する。 全員で営業活動を行う。
(2) 3ム活動の推進（ムリ、ムダ、ムラ）	○	点群データの作成を心掛け、ノーハウの蓄積を図る。 全員で作業ミスの削減活動実践する。
地域の美化活動の推進	◎	地域の美化活動に積極的に参加した。

VI. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
消防法	(防火対象物) 防火管理者の届出、消防計画の作成、避難訓練の実施、消火設備・火災警報設備の点検整備、避難設備の維持 (危険物取扱所) 設置許可、技術基準の遵守、危険物保安監督者の届出、定期点検の実施と記録の保存	遵守
浄化槽法	浄化槽設置届及び使用開始報告 保守点検及び清掃、記録保存(3年保存)	遵守
	水質基準遵守	遵守
	定期水質検査	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。

なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

VII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、エコアクション21に取り組んで来ました。

ほとんどの環境目標を達成できた。

今後、さらなる全社員の環境意識の向上に努めたい。

- | | | |
|-----------------|--|-----------------------------------|
| ・環境経営方針： | <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし | <input type="checkbox"/> 見直しの必要あり |
| ・環境経営目標・環境経営計画： | <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし | <input type="checkbox"/> 見直しの必要あり |
| ・実施体制： | <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし | <input type="checkbox"/> 見直しの必要あり |

2024年11月10日
代表取締役社長 丸山 武